週刊 まんまる新聞

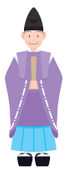
発行所 くらしの新聞社
〒004-0055 札幌市厚別区厚別中央5条4丁目3-4(JR厚別駅前)
電話(代) 011-892-4110　FAX 011-892-4116
http://manmaru-sinbun.com
e-mail:info@manmaru-sinbun.com
次回発行／8月21日(金曜日)

まんまる新聞は無料です　配達モレはお気軽にご一報ください。
配達部数 112,073部
8月7日号現在　江別 50,501部・厚別 61,572部
(厚別は清田区平岡公園東、北広島市虹ケ丘・西の里含む)

8月7日～8月20日の暦

8月7日(金)	旧6月18日 大安 立秋 月出20:55 日出 4:31 月入 7:42 日入18:49 七夕(北海道の七夕は月遅れで行われる地域が多い)	月齢 17.4 居待月(いまちづき)	
8月8日(土)	旧6月19日 赤口 月出21:17 日出 4:33 月入 8:43 日入18:47	月齢 18.4 寝待月(ねまちづき)	
8月9日(日)	旧6月20日 先勝 月出21:39 日出 4:34 月入 9:43 日入18:46 長崎原爆犠牲者慰霊 平和祈念式典(1945年、長崎に原爆が投下された)	月齢 19.4 更待月(ふけまちづき)	
8月10日(月)	旧6月21日 友引 月出22:01 日出 4:35 月入10:43 日入18:44 祝 山の日	月齢 20.4	
8月11日(火)	旧6月22日 先負 月出22:26 日出 4:36 月入11:44 日入18:43	月齢 21.4	
8月12日(水)	旧6月23日 仏滅 月出22:54 日出 4:37 月入12:45 日入18:42 ペルセウス座流星群(12日22時ごろ極大、見頃は13日の未明)	月齢 22.4 下弦	
8月13日(木)	旧6月24日 大安 盆の入り 月出23:28 日出 4:38 月入13:48 日入18:40	月齢 23.4	
8月14日(金)	旧6月25日 赤口 月出--:-- 日出 4:39 月入14:50 日入18:39	月齢 24.4	
8月15日(土)	旧6月26日 先勝 月出 0:09 日出 4:40 月入15:51 日入18:37 終戦記念日(1945年、日本が無条件降伏して第二次世界大戦が終結した)	月齢 25.4 有明月(ありあけづき)	
8月16日(日)	旧6月27日 友引 盆の明け 月出 0:59 日出 4:41 月入16:47 日入18:36	月齢 26.4	
8月17日(月)	旧6月28日 先負 月出 1:58 日出 4:42 月入17:37 日入18:34 1948年、日本初のプロ野球のナイター戦が行われた	月齢 27.4	
8月18日(火)	旧6月29日 仏滅 月出 3:06 日出 4:43 月入18:21 日入18:33	月齢 28.4	
8月19日(水)	旧7月1日 先勝 月出 4:19 日出 4:45 月入18:58 日入18:31	月齢 0.0 (新月)	
8月20日(木)	旧7月2日 友引 月出 5:36 日出 4:46 月入19:30 日入18:30 1931年、銀座の交差点に日本初の3色灯の自動信号機が設置された	月齢 1.0 繰月(せんげつ)	

ご神水、地域とのつながりに



水質高く、飲食店での利用や地酒の仕込み水に

江別神社の境内に昨年、約50年ぶりに復活した「ご神水」の井戸が、その水質の高さから、地元住民や飲食店などで愛用されている。同神社の内田悟宮司は「神社と地域の強いつながりを象徴するものとして、多くの人に利用してもらいたい」と話している。

江別神社の境内には、昭和20年代から地下水を汲み上げる井戸があり、その水は地域の生活用水として広く利用されていた。浅堀りの井戸水は、現在の水道水の水質基準にはほど遠く、鉄分の多い赤茶けた水だったが、当時は「命の水」と呼ばれ、地域の人々の生活を支える大切な存在だった。その後、水道網の整備にともない、井戸の利用は減り、昭和30年代前半でその役目を終えた。

ご神水復活のきっかけとなったのは、2年前の北海道胆振東部地震。宮司自身も子どものころ、江別神社の水を家で使っていた経験から、災害時にも地域住民に水を供給することができる、かつての井戸を復活させようと思い立った。

飲料水の水脈を掘り当てるのは、さく井工事の中でも難しいとされるが、宮司の強い信念と、その思いに共感した地元の業者や、神輿の会メンバーらの協力もあり、工事は無事成功。51項目の水質検査もクリアして、昨年10月末に飲料水として利用できるご神水が復活した。

かかった費用は1500万円。最高にウマイ」と太鼓判を押す。江別の地酒「瑞穂のしずく」の仕込み水にも採用された。

内田宮司は「このまちを愛する人々の思いがあって、神様がご神水に導いてくれたのだと思います。今後も神社を心のよりどころとして、身近に感じてほしい」と話している。

給水できるのは、平日午前9時～午後4時。社務所では、ご神水復活を記念した御朱印(300円)も受け付けている。

問／江別神社(萩ヶ岡1-1)✆011-382-2201

江別神社 災害時には住民へ水供給も

かつて「命の水」と呼ばれた江別神社の井戸水を復活させた内田宮司

「失敗した時には、退職金も辞退して、責任をとって引退するつもりだった」という不退転の決意で臨んだ工事。掘り当てた地下154～160メートルの水脈からは、1日2590トンもの清らかなご神水がなみなみと湧き出ている。災害時に停電になっても水を供給できるよう、手汲み式のポンプも設置した。

ご神水は弱アルカリ性軟水で、角がなく、まろやかな口当たり。寿し店の店主は「この水でご飯を炊くと

トウモロコシとブロッコリーを直売、恒例の1日限定企画
ふたりのマルシェお寺でマルシェ！

8月15日、江別の陽林寺

江別市の農業生産法人アンビシャスファーム㈱が運営する週末1日だけの特別な野菜直売所「ふたりのマルシェ」が、8月15日(土)午前10時～、江別市の陽林寺駐車場(緑ヶ丘9-2)に開設される。毎年恒例のお盆に開催する「お寺でマルシェ！」。農場直送の朝採りのブロッコリー、トウモロコシ(恵味ゴールド)が販売される。売り切れ次第終了。同日は盂蘭盆会法要(お盆のお参り)が行われているが、誰でも買い物できるという。

同直売所は「たべる人(消費者)」と「つくる人(生産者)」の交流をコンセプトにスタートして8年目を迎える。

「ふたりのマルシェ」は普段、ブルールスモンシュシュ前(野幌住吉町25-48)で、毎週土曜日午前9時～昼12時に開催されている。また、8月16日(日)には、ノースアイランドビール工場前(元町11-5)で行われる「ノースアイランド11周年記念感謝祭」にも出店する。

問／アンビシャスファーム✆011-555-4210

えっ！どうして？不思議な錯覚の世界

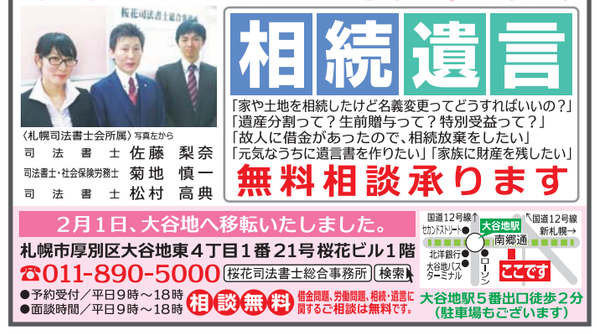
8月8日～16日、青少年科学館

形や色などが事実と違った見え方をする目の錯覚、いわゆる「錯視」をテーマにした札幌市青少年科学館の夏の特別展「えっ！どうして？不思議な錯覚の世界」が8月8日(土)～16日(日)午前9時～午後5時、同科学館2階特別展示室「サンピアザ隣り」で開かれる。料金は高校生以上700円、中学生以下無料。

映像やパネル、立体作品など23点を展示する予定。

問／同科学館✆011-892-5001

職員力作のトリックアート



◎まんまる新聞8月14日号は休刊いたします。◎新型コロナウイルス感染症の影響により、掲載された内容が変更される可能性があります。ご了承ください(7月31日現在)。